

様式第 4 号

市民意見公募（パブリックコメント）の実施結果について

件 名	第二次山陽小野田市総合計画（基本構想改訂及び中期基本計画の素案）
意見募集期間	令和 3 年 9 月 1 5 日（水）～令和 3 年 1 0 月 1 1 日（月）
公表した資料	第二次山陽小野田市総合計画（基本構想改訂及び中期基本計画の素案）
意見の件数	1 名 9 件

意見の概要と市の考え方等

項 目	意見の概要	市の考え方又は対応
(1) p27 評価指標について	評価指標の単位が「%」となっているが、説明には「人口 10 万人当たり」となっているので「人」とすべきだ。	単位を修正します。
(2) p47 評価指標について	評価指標「DV相談件数」が 42% を 60%にする目標であるが、単位は正しいか。	単位を修正します。
(3) p65 評価指標について	評価指標「緑化推進協議会会員数」の単位が「件」となっているが、個人と事業者があるので、それぞれ単位を設けるべきだ。	単位を修正します。
(4) p78 目標指標について	目標指標「有効求人倍率」について、宇部公共職業安定所管内の指標であり、他市や経済状況に左右される。市の努力で達成可能な指標にすべきである。	基本施策「多様な働く場の確保」は、雇用の確保を目的としているため、成果が具体的に表れる有効求人倍率を指標に設定しています。御指摘のとおり、経済状況に左右されるなどの事業以外の要素も含まれますが、求職者（市民）から見ると、どれだけ就職しやすいかが分かりやすい指標であると考えています。

		市としても、雇用の確保、就業支援に関する事業をハローワーク等の関連機関と連携しながら実施し、有効求人倍率が上がるように努力してまいります。
(5) p107 評価指標について	評価指標「文化会館利用者数」について、現状値は令和2年度の数値だが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けているのではないかと。影響がない年度の数値を現状値として設定すべきである。	影響がない年度の数値を現状値として設定します。
(6) p108 評価指標について	評価指標「文化財をテーマとした地域・学校との連携事業の参加者数」について、現状値は令和2年度の数値だが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けているのではないかと。影響がない年度の数値を現状値として設定すべきである。	この現状値については新型コロナウイルス感染症の影響を受けているものではないため、現行どおりとします。
(7) 全体 指標について	指標の単位について、「円」となっているものや「千円」となっているものがある。表記を統一すべきである。	表記を統一します。
(8) 全体 指標について	指標の目標値の単位が「%」となっているものについて、数値を小数点第一位まで表記しているが、ここまで必要なのか。整数でとどめたらどうか。	指標によっては、現状値と目標値の差がわずかなものもあることから、現行どおりとします。
(9) 全体 指標について	指標について、現状値、目標値ともに、数値と年度が併記してあるが、年度は数値の欄に入れるべきではない。	製本時に年度は表題の中に記載します。